



広報

# みまた

1996-1 JANUARY  
No.307 /5



## 謹賀新年

- 一、常に新しい希望をもって郷土の開発に努めましょう。
- 一、教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 一、環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 一、生活を工夫しよりよい風習を作らしましょう。
- 一、力を合わせねばり強く住みよい町を築きましょう。

### ●町民憲章

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしき三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

### 今月の内容

年頭のあいさつ	2
新成人者	3~4
ふるさとへの便り	5
平成6年度収支決算報告	6~7
ふるさとまつり	8~9
交通安全駅伝大会	10~11
紙面国際交流コーナー	12
図書室だより	13
保健だより	14
町の話	15~17
お知らせ	18

## 今月の納税 県町民税 4期 保険税 5期



### 戸籍謄抄本等の交付手数料が変わります

平成8年1月1日から、戸籍の謄抄本等の交付に要する手数料の額が次のとおり改正されました。

### 戸籍手数料一覧表

申請内容	手数料額
戸籍の謄抄本又は記録事項証明書	1通 450円
除籍の謄抄本又は記録事項証明書	1通 750円
戸籍に記載した事項に関する証明	証明事項1件 350円
除籍に記載した事項に関する証明	証明事項1件 450円
届出・申請の受理証明書又は届書その他の書類の記載事項の証明書	1通 350円
上質紙を用いた受理証明書(婚姻離婚・養子縁組・養子離縁又は認知の届出)	1通 1,400円
届書その他の書類の閲覧	書類1件 350円

## 一般寄付

田實 八洲久(植木) 歩行器ほか  
このほど田實さんは、社会福祉協議会へ歩行器1台、紙オムツ、車椅子1台を体の不自由な方々に使ってくださいと寄付されました。ありがとうございました。



## 愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次の通りいただきました。故人のご冥福をお祈りいたしませと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございました。

平成11月1日から平成11月30日まで

寄付者	続柄	故人名	地区	金額
久保トシ子	夫	藤道	71 神田	3万円
山下清水	妻	指宿キミ子	75 前目	3万円
中野フミ	夫	光二	大鷲	2万円
西カズエ	夫	冠治	73 植木	3万円
山下三秋	妻	ツルエ	71 植木	2万円
松山和喜	父	喜熊	93 大野	3万円
瀬尾タカ夫	重	重夫	77 山王原	3万円

第17回健康走ろう会  
日時 1月21日(日)  
受付 午前8時30分  
開会式 午前9時  
場所 三股町中央公民館前

【種目】  
・小学1~2年男女 1.0km  
・小学3~4年男女 1.5km  
・小学5~6年男女 2.0km  
・中高校生・一般女子 2.0km  
・中高校生・一般男子 3.0km  
・中高校生・一般男子 5.0km  
・ファミリージョギング(12歳以下の子供とその家族) 2.0km

参加料 一人につき50円  
※申込みは、1月18日(木)までに教育委員会生涯学習課へ

### 宮崎県最低賃金一覧表

宮崎県最低賃金	最低賃金額(円)		
	日額	時間額	
宮崎県最低賃金	4,426	554	
産業別最低賃金	肉製品・乳製品製造業	4,648	581
	製糸業・紡績業	4,690	587
	電気機械器具製造業	4,783	598
	各種商品小売業	4,675	585
	自動車(新車)小売業	4,904	613

1. 最低賃金は、臨時、パート、アルバイトなどを含めた全ての労働者に適用されます。
  2. 最低賃金には、①賞与などの臨時の賃金②時間外労働などの割増賃金③精皆手当、通勤手当及び家族手当は含まれません。
- ◎問い合わせは、都城労働基準監督署 (☎23-0192)  
又は、最低賃金テレホンサービス (☎0985-23-4811)

第39回宮崎県勤労者美術展  
作品募集

応募資格 県内に居住し又は勤務先を有する勤労者(退職者、自営業、主婦、家事従事者等を含む)で、アマチュアの方。但し、県美展・宮日美展等に入賞したことがある方は除く。

応募部門 絵画・書道・写真  
作品受付 1月13日(出)15日(用)  
問い合わせ 宮崎県総合博物館(宮崎県総合博物館)  
宮崎県労働能力開発課  
☎098512617106

交通事故にあわれたら！  
被害者、加害者ともお気軽に

**都城地区交通事故相談所へ**  
(無料)

◎相談所  
都城市総合福祉会館3階  
TEL23-0944

◎相談日時  
月曜日～金曜日  
9時～16時

# 年頭のあいさつ

謹んで新春のお慶びを申し上げます



三股町長 山元 勝博

昨年はまさに「激動」の年ではなかったでしょうか。1月17日未曾有に発生した阪神淡路大震災、3月20日の地下鉄サリン事件により多くの方が犠牲者となられました。災害の恐ろしさを再認識するとともに、大量虐殺を狙った人間を人間とも思わぬ非人情的な行為に腹立たしさを隠しきれません。町民の皆様には、平成八年の新春を大きな期待と希望をもって迎えられることと思います。旧年中は、町政運営に対し格別のご理解とご協力を賜りありがとうございました。心から厚くお礼申し上げます。お陰をもちまして昨年は、一般廃棄物最終処分場建設事業、第6地区コミュニティセンター建設、

中原コミュニティセンター建設事業、山王原早水線交通安全施設整備事業、町民会館建設基本計画作成、教育施設整備事業、福祉事業などの諸事業を順調に推進することができました。また、11月のふるさとまつり、12月の交通安全駅伝競走大会と連続して大きな行事を行いました。盛大に、しかも成功裡に実施できましたことは、町民各位並びに各団体のご理解とご努力の賜物であり、ここに改めて感謝の意を表しますとともに、町民一丸となった活力ある誇れる町づくりが着実に前進しておりますことは、同慶に堪えません。不況が長期化する中、地方財政も更に厳しくなっておりますが、私は年頭に当たり、町長としての責務の重大さを改めて痛感するとともに、皆様から寄せられた信頼と期待に応えるべく、更に、「人や自然にやさしい誇れる町づくり」に全力を傾注していく決意であります。平成8年度の主な事業と致します。



一般廃棄物処理場完成写真

しては、文化会館・図書館を併設した総合文化施設の建設、一般廃棄物処理場の本体工事、上米公園・椎八重公園の整備事業などが予定されています。特に、総合文化施設は、平成10年度完成に向け着手致します。また、一般廃棄物処理場は、平成9年4月運転開始に向けて着々進行しており、完成するまでに巨額の費用を要する事業であります。町議会のご理解とご協力を賜りながら全力を傾けて取り組んでいく覚悟であります。また、町人口の増加に伴い、建設の音が高まっており、調査につきましては、今年度から調査に着手し、自然環境と調和した美しい公園墓地が建設できるよう取り

組んでいきたいと思っております。更には、切寄線・三股駅小鷲集線の道路改良や宮村南部地区農業集落排水事業、生涯にわたる福祉対策、義務教育施設の整備、農畜産業や商工業の進行など諸事業全般にわたり、皆様のご意見・ご要望を広く拝聴しながら最善の努力を致す所存であります。どうか今年も、町政発展のため尚一層のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。終わりに、この平成8年が皆様にとって最良の年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭に当たってのご挨拶と致します。



青森県鯉ヶ沢町長が表敬訪問

## 船団方式事業導入検討の経緯

平成五年七月に北諸5町下水道研究会が発足、その後、調査研究会・検討会や現地調査を重ね、平成6年7月に北諸5町長に対する船団方式事業説明会を開催し「船団方式事業」導入について合意し、平成6年11月25日に北諸5町下水道船団方式覚書に調印しました。

## 下水道船団方式事業とは

一定地域の複数の市町村が下水道処理施設の共同化や維持管理業務の共同化を行うものであり、共同化、共同化にかかる施設の整備については、計画から設計、施工までを日本下水道事業団に委託し、技術的支援を受ける事業方式です。・共同化……下水道処理施設等のシステム、構造、寸法を統一する。・共同化……下水道処理場等の運転監視、水質試験、汚泥処理等の一部または全部を共同化する。

## 成人おめでとーうございます

《402名が大人の仲間入り》

今年1月15日に成人の日を迎える青年男女は、昭和50年4月2日から昭和51年4月1日までの出生者で、町では、次々402名(12月8日現在)の方々が対象です。町では、社会人の仲間入りをすする402名の前途を祝し、1月5日に三股町体育館において成人式を行いました。

- 【第1地区】
- 山下淳一 坂元義照
  - 地主修一 潮崎裕樹
  - 山元康作 佐藤勝
  - 荒武大作 山元博
  - 高田修 楠圭太
  - 兒玉博幸 平川大樹
  - 水元竜太 米村博貴
  - 中留雄二 高山太史郎
  - 小倉玲子 谷山理早



昨年の成人式

- 【第2地区】
- 瀬尾あゆみ 池田美紀
  - 假屋美樹 下石貴子
  - 高橋睦美 按迫裕美子
  - 高田恵 山岡千芳
  - 福田飛鳥 石崎博美
  - 荒武朋美 福田美穂
  - 上原さつき

- 【第2地区】
- 細川一博 大村真樹
  - 蔵元亮 大盛勇一
  - 畑中孝博 堀内国彦
  - 中原孝博 松元雄次
  - 原田新一 原田雄次
  - 原田淳博 堀内義和
  - 木下春幸 堀内義和
  - 白尾誠 下石暢彦
  - 久保裕二 和田健二
  - 時任純頭 永橋正樹
  - 飯田純子 大盛久美子
  - 大盛美津子 川原裕子
  - 福留真由美 大村由加里
  - 中原悦子 下西智子

- 【第3地区】
- 中山美紀 西村直美
  - 森山ゆり子 原田理恵
  - 向中野仁美 内村瑞代
  - 飯田裕子 白尾明美
  - 中内桂子 上水景子
  - 大浦千代美 大脇美鈴
  - 前田久美子 上石真喜

- 【第3地区】
- 宮里尚爾 福元邦孝
  - 小林友和 小野田公之
  - 竹下真一 海老原康一
  - 安田寛生 野崎周造
  - 大盛健一 大盛健次
  - 永田直也 大盛博幸
  - 宮崎勝彦 中野和紀
  - 田嶋秀一 原村美穂
  - 中野真由美 福元麻理子
  - 内村美穂子 森山美香
  - 黒木香里 瀬尾晶子
  - 東村俊子 東村なおみ
  - 黒瀬優子 黒崎理絵
  - 小林陽子 下村恵生
  - 上石麻実子 芦谷久美子
  - 宮崎みどり 中野優子
  - 瀬尾晴香 萩原さつき

- 【第4地区】
- 今村一寿 中村正宏
  - 中野達郎 永山博
  - 神崎竜太郎 嘉藤弥志
  - 久保隆史 園田隆之
  - 谷口竜太 蓬原正樹
  - 吉川廣幸 崎田みゆき
  - 小林悦子 畑中ひろみ

- 【第5地区】
- 中村順子 假屋佐織
  - 甲斐薫 上西ひとみ
  - 山之内美和 坂元みゆき
  - 細山田まゆみ 石川千春
  - 三品めぐみ 松山由香

- 【第5地区】
- 三上貴司 飛松一友
  - 川越大輔 田浦智治
  - 高妻守 轟木さおり
  - 黒木安奈 黒木千穂
  - 大村理恵

- 【第6地区】
- 徳丸誠 田中弘将
  - 岩崎英 才田貴広
  - 松山幸 田口芳郎
  - 福田和幸 田口和人
  - 大村英樹 新森直樹
  - 新森勇人 外戸保友二
  - 房和貴 久保正人
  - 野崎博 野崎玲
  - 中村正志 木下健二
  - 綿屋新一 大下淳一
  - 福永智翼 菊池貢幸
  - 別府雅智 堀内竜二
  - 小玉利彦 堀内竜二
  - 田上秀喜 戸郷健治
  - 月野明生 小牧正輝
  - 小原雄一 福田正等
  - 大河内瑞希 立山千聡
  - 猿渡伸子 田上麻子
  - 新村直子 福田多真岐
  - 中原香織 中原恵美
  - 田中成美 平崎良子

- 【第7地区】
- 南畑夕子 永田裕子
  - 中村裕子 宮崎麻美
  - 福永浄子 福永由香
  - 福永志乃 内田百合香
  - 竹田由美子 南畑由紀子
  - 綿屋こづえ 吉留美和
  - 馬場智恵子 宮原美由紀
  - 青山由紀子 中村知子
  - 新森ひとみ 稲元秋子
  - 兒玉幸江 茨木里香
  - 西村敬子 西村麻美
  - 塗木亜弥 友房まり
  - 上野愛美

- 【第7地区】
- 齋藤真詩 北畑浩介
  - 指宿将司 去川憲一郎
  - 村田真聖 河野宏幸
  - 澤津橋秀人 柳橋孝博
  - 有田隆司 山口兼一
  - 池田祐司 桐野兼一
  - 森裕哉 間世田和久
  - 佐澤秀臣 黒木健二
  - 本村勇士 桑畑智裕
  - 東畑俊一 吉村一誠
  - 桑畑俊一 二宮賢明
  - 木下幸一 岡本慶一
  - 森近邦一 山本智仁
  - 大田原修 中山智学
  - 大崎智敬 西川真実
  - 福岡弘志 兒玉宏幸
  - 黒岡大志 天神原盛
  - 下木大介 宮崎隆盛
  - 丸田正博 小宮隆盛
  - 新留健一 吉村孝史

戦後五十年間で、家族構成はどのように変化してきたのでしょうか。

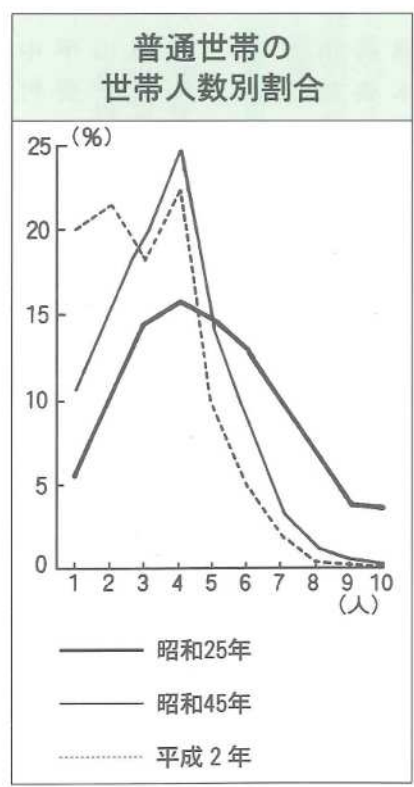
まず、合計特殊出生率(十五〜四十九歳の女性一人当たりの生んだ子どもの数)をみると、昭和二十一年に四五・四人だったのが、同三十年には二・三七人まで急激に減少しました。それ以降も減少傾向は続き、平成二年は一・五四人、同六年は一・五〇人となっています。

戦後50年間で  
5人以上の世帯割合が大幅に減少

も全世帯数に占める割合が一〇%を超えています。その後、出生率の減少や、高度経済成長を背景に、大都市やその近隣地域への世帯流入による核家族化が進んだ結果、その割合は大きく変化しました。平成二年、最も多いのは、一世帯四人の22%ですが、四人以下の割合は増加し、五人以上は減少しています。

家族構成の変化

今年十月に行われた国勢調査では、この傾向がどのように変わっているか、平成八年六月に公表される集計結果が注目されます。



昨年の成人式

- |       |        |
|-------|--------|
| 小牧利英  | 濱田武彦   |
| 長尾武   | 天満志津也  |
| 酒井英臣  | 篠田浩一郎  |
| 迫田祐一  | 斉藤秀幸   |
| 益山智哉  | 鹿島友美   |
| 荒武久美子 | 木佐貫久美子 |
| 大村由香  | 森加代子   |
| 池田里美  | 北野さゆり  |
| 浦壁陽子  | 下森悦子   |
| 平川陽子  | 津田智美   |
| 山領美奈子 | 中山美由紀  |
| 北園里香  | 下沖綾    |
| 下沖あさみ | 諏訪瑞紀   |
| 北川佐織  | 上村優香   |
| 山懸邦子  | 森永恭代   |
| 小谷ゆかり | 中島美穂   |

- |       |       |
|-------|-------|
| 新留美由紀 | 橋谷早苗  |
| 富森真由美 | 梅北香   |
| 内山めぐみ | 中山阿紀  |
| 中村めぐみ | 濱島あゆみ |
| 大川内由美 | 橋口美知恵 |
| 桑畑明子  | 篠原明子  |
| 立山瑞貴  | 山下百代  |
| 山元美紀恵 | 福田恵美  |
| 森田さつき | 町元優子  |
| 小牧理佐  | 室田友子  |
- 【第8地区】
- |       |        |
|-------|--------|
| 川崎修   | 上原壮太郎  |
| 山本浩史  | 松山尚稔   |
| 末原和幸  | 木佐貫雄一  |
| 永徳斉朗  | 桑畑誠    |
| 児玉俊介  | 松山智和   |
| 原田秀市  | 西村健一   |
| 二分真一郎 | 黒木哲也   |
| 和田洋輔  | 田中雄介   |
| 安藤孝一  | 中西広文   |
| 山下大介  | 島津礼史   |
| 米丸修   | 中村和博   |
| 石坂伸康  | 菅田光喜   |
| 小松賢一  | 井上裕之   |
| 南場克城  | 長友健一   |
| 鬼東仁   | 白石幸典   |
| 海田英生  | 丸田祐子   |
| 原田佳子  | 松山智子   |
| 出水智子  | 山之内希久子 |
| 上石美鈴  | 小谷華恵   |
| 八坂美奈子 | 小牧まゆみ  |
| 東亜希子  | 荻窪あゆみ  |
| 丸田智子  | 崎山典子   |

- 【第9地区】
- |       |       |
|-------|-------|
| 加藤健一  | 上原正喜  |
| 田中薫哉  | 志比田康貴 |
| 内村征俊  | 坂元重光  |
| 和田善久  | 大工龍也  |
| 蘆田真一  | 藤井健二  |
| 甲斐正康  | 馬場啓誠  |
| 尾崎正弘  | 政野一也  |
| 竹迫順一  | 中田健   |
| 新屋卓   | 池田信二  |
| 和田慎司  | 金田純   |
| 国谷昌浩  | 宮越智明  |
| 下西健一郎 | 田口勇人  |
| 大賀佳美  | 水流園ルリ |
| 新名幸代  | 青木麻美  |
| 和田麻美  | 石塚真智子 |
| 高畑美貴  | 牧野愛   |
| 山内由佳  | 大峰真由美 |
| 吉田由紀  | 上牧明美  |
| 大峰恵利子 | 井手上友恵 |
| 竹下久美子 | 中川由紀  |
| 矢部涼子  | 北川めぐみ |
| 竹本道子  | 高野睦美  |
| 松下久美子 | 黒木優子  |
| 児玉由紀  | 森田留美子 |
| 野口早苗  | 中山陽子  |
| 下東詩文  | 竹町美保  |
| 小牧たまみ | 土橋理絵  |
| 田中文江  | 木下洋子  |
| 羽田野藤子 | 山下あかね |
| 峯文字   |       |

ふらふらの便り

柳田 恵子 (51)  
〔旧姓福永・蓼池出身〕



新たな年をどのようにお迎えになったでしょうか。貴方にとりまして輝かしい1年になりますようお祈り致します。

平成7年は「激動」との言える足跡を残しましたが、平成8年は末広がりの年でもあり、きっと明るく伸びゆく年になると信じて過ごしていきたくと思っています。正月は何歳になってもすがすがしく、何となく華やいだ気分になるものですね。

しく「光陰矢の如し」と申しますとお日月の経つのは早いものだと驚かされます。

つい先程まで子育てにバタバタしていたような気がしております。たのに、娘は結婚して子供(女の子:千尋...)がおりますし、息子も大学4年になり、こちらも巣立つ寸前……。私も夫婦はまた「ハネムーン」状態(?)に戻っております。娘に子供ができて自分では「祖母」という実感はこれっぽっちも無く、「私には『祖母』という代名詞が似合わない」とまで思っております。千尋(孫娘)の笑顔に触れているのが、この上ない楽しみになっている自分に気がきます。「それが、祖母ちゃんの祖母ちゃんたる証」と笑っている夫であります。

そういふ夫も、最近何を思ったのか一念発起して早朝のジョギングに汗を流す日が多くなりました。理由は笑って言いませんが、「孫娘の手前、格好よい(?)祖父ちゃんでありたい」というのが、どうもその本音のようです。何時までもその本音のようです。最近太めが地の夫でしたので、丁度良い所でおさまってくれるよう望んでいる私です。

さて、私の中にある貴方(三股)の存在は、25年の月日を経てはい

るものの随分と近くにあつて最近には更にその距離が縮まっています。嬉しく思っております。それは、母をはじめ、弟、義姉妹が元気で三股に居てくれるというお陰でありますし、そして最近、その距離が縮まれているという実感は、旧友と再開できる機会が増えてきていることにあるような気がします。

勿論私の帰省に日程を合わせて頂けるからこそ、そのような楽しい機会を持つことができる訳で、暖かい心配りに感謝しているところです。そして当然といえば当然なのでしょうけど、約30年振りにお会いした友達への何という賞状か、タイムトンネルをくぐり抜けて、中学、高校時代の面影をお互いに見合せては、当時の懐かしい話題に花が咲くのは勿論ですが、そのすばらしい中年振り(?)に驚き、「我々の年代の人達が、力強く、町を支えているな」「故郷安泰!」という喜びを禁じえません。

帰省した時の家族団欒の折々に話題となるものがあります。それは、お祭りでよく見た「踊り」の事についてであります。特に私は、何故か「俵踊り」が好きで、今で言う「追っかけ」的な所すらありました。今でも私の思い出の中に残っているあのさわりの部分……かっついていた俵をポンと小気味よく後の踊り手に投げ渡すシーン……。今でも記憶をたどって、ここだけは踊れるんです。他愛ない事と笑わないで下さい。私にとっては、とても大事な役目をしているよう

な気がしているのです。少しロマンチックな表現をするならば、この「俵をポン」と受け渡すシーンを窓口にして、懐かしい三股の思い出が、スーッと自然に戻ってきて、今の私の気持ちと本当に無理なく混じり合い、昔と今がつながっている……そんな役目を果たしてくれているのです。

夫も又、子供の頃見た、青年団の人達が踊っていた勇壮な「棒踊り」の事を言います。「ウウウ」と言う低いゆっくりとした旋律と共に、棒と踊り手がユウユウとゆらゆらかと思うと、「エイヤサ、エイヤサ」と、激しく棒が打ち合うあのシーンは忘れられないと。

多分夫も私と同じような感じを持ってのいるのだらうと思います。もし今も踊り継がれているのなら、そのような時期に合わせて帰省して、しっかりとモノにしておきたい心境にあります。この他にも「ジャンカ馬」「ペブ踊り」もありません。人それぞれでしょうが、多分多くの人が、これらの昔から継がれてきた踊りを、想い出をつなぐ大事なものと抱いておられるような気がします。少なくとも、心を洗ってくださることだけは確かですので、どうか長く長く続けて欲しいと願っております。

昨年、在京三股会に参加できました。その時の話の中で、「それが出来たら良いな」と思うものがありまして。それは、生きた郷土史の編さんであります。年号と出来事の記載の中には、艶やいだ物語や、あるいは涙する悲話があるか、口では歌で伝えられているものがあるのではないかと思っています。もしそのような物語があるとすれば、少しづつ書き留めて、読んで楽しい郷土史、そして「蓼池」「下新」「東原」「勝岡」「前目」「中米」「長田」等々各地区の名称の歴史、是非私自身も知りたいと思っております。

懐かし話をこたつに入って、ミカンを食べながら伝えていく、そんなメルヘンチックな時がくることを夢見ている私です。

私の子供の頃に想いを巡らせて見ると、本当にぼんやりですが、何かそのような、祖父や伯父、叔母達が話してくれて夢中になって聞き入った楽しい一時があったような気がしています。

昔から伝えられてきたものを、何かの形で残し、また積み重ねていくことが、とても大事な事のような気がしてなりません。……こんな事を言うようでは、やはり私は祖母ちゃんでしょうか。

新春早々から、雑談となりましてすがすがしい年でありませうお祈り申し上げて、ペンを置きたいと存じます。

次号は榊山 晋(山王原出身)さんにリレーします。

# 歳入



# 歳出

## 歳出

### 経費別内訳

(統計分析による)

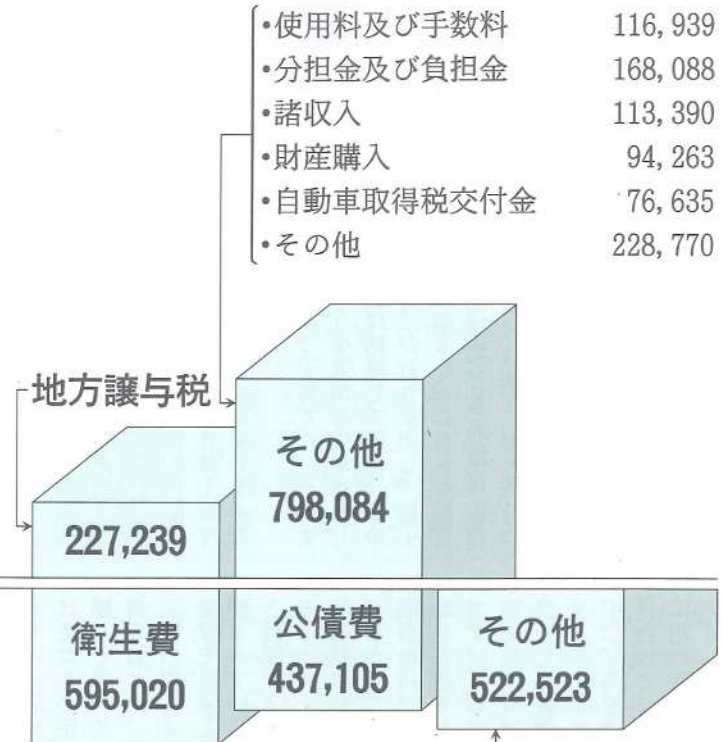
単位：千円



## 歳入総額

7,347,969千円

単位：千円



## 歳出総額

7,177,140千円

## 歳入

### 自主財源・依存財源の内訳

#### 自主財源 (35.0%)

町税や使用料、手数料、財産収入などのように、地方公共団体が自らの意志に基づいて徴収するもの。

#### 依存財源 (65.0%)

地方交付税や国庫支出金などのように、国や県の意志決定で地方公共団体に交付されるものです。

## 平成6年度一般会計

# 歳入歳出決算

平成7年12月、議会定例会で認定。  
これをもって町条例「財政事情の公表」にかえます。

平成6年度一般会計歳入歳出決算の状況を次のようにお知らせします。

平成6年度三股町一般会計決算は、歳入総額7,347,969千円(対前年比3.6%増)、歳出総額7,177,140千円(対前年比3.8%増)、歳入歳出差し引き170,829千円となっています。構成内容を見ると、歳入では町税を柱とする自主財源は35.0%と財政基盤は弱く、依存財源が65.0%と高い比率を示しています。一方、歳出の経費別内訳では義務的経費が38.3%、投資的経費23.9%、經常的経費及びその他の経費37.8%の割合となっています。

### 平成6年度の主な建設事業

(単位：千円)

総合文化施設整備事業	137,061
一般廃棄物処理場整備事業	89,496
中学校施設整備事業	72,203
三股駅小鷲巣線道路改良事業	71,817
花見原コミュニティ建設事業	53,963
清流園合併浄化槽設置事業	53,086
山王原上米線街路事業	48,407
切寄線道路改良事業	36,136
植木公園整備事業	42,000
ふるさと農道緊急整備事業	28,000

### 特別会計決算

国民健康保険特別会計	歳入 1,577,886千円 歳出 1,380,501千円
老人保健特別会計	歳入 1,824,199千円 歳出 1,759,213千円
梶山地区農業集落排水事業特別会計	歳入 462,871千円 歳出 462,478千円
宮村南部農業集落排水事業特別会計	歳入 105,765千円 歳出 105,610千円



オープニングにてクス玉が見事に割れる



人間早馬競走



ビール片手に串焼の試食



和太鼓の競演

# 第5回 ふるさとまつり

## 35,000



長田の棒踊り



司会者



カラオケで熱唱



高校生によるライブコンサート



野呂圭介さん

# さとまつり

## 人で賑わう



大津美子さん



観衆の目を引いたチャガール



幼稚園児の踊り



保育園児の踊り



聴き入る観衆



ディック平川さん

第5回三股町ふるさとまつりが11月11日、12日の2日間にわたって役場駐車場を中心会場に盛大に開催されました。  
ふるさとまつりは、町民の産業の発展と文化活動の発展の場として、人や自然にやさしい誇れる町づくりを進めようと、町と農協・商工会・文化協会・各種団体が実行委員会を組織して取り組んだもの。まつりでは、オープニングに先立ち消防ラッパ隊を先導に幼稚園児、保育園児、保母、婦人会など18団体が三股駅から会場までハッピー姿、かわいい衣装に身をつつみ、いろいろな趣向を凝らしパレードが繰り広げられ、沿道には黒山の人だかりができ、初日から大いに盛り上がりました。

オープニングセレモニー後、三股中学校吹奏楽部による演奏で幕を開け、文化協会による舞踊等が披露されました。また、高校生によるライブコンサートでもつりも最高潮に。  
初めての試みであったきりしまん風交流会では、UMK土曜メッセで活躍中の野呂圭介氏の講演、和太鼓の披露があり会場は笑い、太鼓の響きに酔いしれました。その後、各町の自慢の鍋を囲み焼酎を飲み交わしながら、日頃の活動の問題や課題を取り上げながら意見交換し、友情を深めました。  
12日は、1チーム8人で、300キロの米俵を積んだソリを引く人間早馬、タレントショー、MRラジオ公開録画によるカラオケ

歌合戦、大津美子ショー、お楽しみ抽選会など様々な催しが行われました。また、102メートルの焼肉台を使った串焼き試食会もあり、2,000人が最上級の都城牛に舌づつみを打ちました。  
中央公民館・勤労者体育センターでは、保育園、小中学校、婦人会、高齢者クラブ等による絵画や書道などの展示があり、お客さんの目を引き付けました。また、五本松公園では、福祉コーナーが設けられ、三世代グラウンドゴルフ大会や健康相談コーナー・世代交流による竹細工等が行われました。  
沿道では、農産物や地場産品が展示即売され、まつりは2日間、延べ35,000人の人出で賑わいました。

# 第4回 交通安全駅伝

## 第6地区が4連覇

# 競走大会

## 達成



一斉にスタートする選手



親子3人で出場した松山さん



選手宣誓する田中梢さん



走る前に健康チェック



沿道の声援はうれしい



11区でのデットヒート



独走で次走者へ



ラッパ隊を先導に交通安全パレード



4連覇のゴール



力走する警察署チーム



4連覇を達成した6地区役員・選手

第4回交通安全駅伝競走大会が12月3日、役場正面前をスタートゴールとする西区間、約31キロメートルのコースで行われ、第6地区が優勝し4連覇を達成しました。

この駅伝競走大会は、交通安全に対する町民の意識を高め、交通事故・違反のない明るく住みよい町づくりを進めようと町と交通安全協会三股支部・体育協会が自治公民館連絡協議会の協力を得て開催しているものです。

大会には、各地区代表の9チーム、オープン参加の都城警察署チームの計10チーム、240名の選手が参加。開会式で6地区の田中梢さん（小学6年）が力強く選手宣誓した後、午前10時ピストルの合図でスタート。小学生低学年から高学年、中学生、青年、壮年、交通安全役員、公民館関係役員へとリレー形式で次々にタスキを受け継ぎました。

大会は、町内をほぼ1周する形でコースが設定されており、中継所や沿道には大勢の町民が詰めかけ、「がんばれ!」「もう少しで追いつくぞ!」と大きな声で声援を送って選手を励ましていました。選手たちは声援を背に至るところで

デッド・ヒートを繰り返しました。結果は、第6地区が圧倒的強さで4連覇を達成しました。また、申告タイムでは第2地区が実走とわずか42秒の誤差で1位になりました。

### 大会順位

優勝 第6地区 1時間53分53秒  
準優勝 第2地区 1時間59分27秒  
第3位 第1地区 2時間1分16秒  
申告タイム順位  
(あらかじめ申告していた時間に近い順位)

### 区間賞

優勝 第2地区 (42秒)  
準優勝 第6地区 (58秒)  
第3位 第7地区 (1分20秒)

【1区-800m】 児玉 晴菜 3分23秒  
【2区-800m】 松山 陽喜 3分17秒  
成竹 大樹 “ ”  
【3区-800m】 福田真菜美 2分29秒  
【4区-800m】 志々目 真 1分40秒  
【5区-1.0km】 新村 夏樹 4分34秒  
【6区-1.0km】 津崎 光司 3分33秒  
丸田 義弘 “ ”  
曾根崎弘嗣 “ ”  
【7区-1.0km】 橋本 早紀 3分20秒  
【8区-1.0km】

【9区-3.0km】 清水 誠也 3分34秒  
能勢 賢治 11分0秒  
【10区-1.5km】 梶 幸也香 6分5秒  
【11区-3.0km】 紀伊浩一郎 10分52秒  
【12区-1.5km】 東 千穂子 5分45秒  
坂元 信哉 4分29秒  
【13区-1.5km】 野口 佐織 5分46秒  
【14区-1.5km】 大久保 誠 9分47秒  
【15区-3.0km】 藤本 恵 3分31秒  
曾原ゆう子 “ ”  
【16区-1.0km】 新地 学 6分39秒  
【17区-2.0km】 今村 理絵 3分11秒  
【18区-800m】 和気 進 2分59秒  
【19区-1.0km】 鍋倉 隆治 4分45秒  
【20区-1.5km】 月野美枝子 2分1秒  
【21区-500m】 中西 浩二 3分14秒  
【22区-1.0km】 大村 福一 1分40秒  
【23区-500m】 日高 輝幸 “ ”  
【24区-1.50m】 松野 広 27秒

文化の輸入と輸出



ジェイソンさん

11月は夜は寒くて、昼はまだ暖かくて、不思議な天気だと思えます。イギリスはこの時期は一日中寒いです。12月20日にイギリスに帰って、二週間ぐらい家族と一緒にクリスマス休みを過ごします。宮崎の天気は慣れてきたので、ロンドン空港を出る時は寒さのショックを受けるかも知れません。カルチャー・ショックよりも天気ショックになります。

「百聞は一見に如かず」という諺は最近習いました。これは外国をしようとする時でも特に言えます。私は4年間イギリスの大学で日本の事を勉強しましたが、実際に日本に来て、日常生活を体験してから来日する前の日本のイメージと日本の現実がかけ離れていたということが分かってきました。一般のイギリス人と日本人は互いの国に行く機会があまりありませんので、頭に自分の国で受けたイメージしかありません。ですのでイギリス人が持っている日本のイメージや日本人が持っているイギリス人のイメージは一体どんなことか、どうやって出来たかというのは互いの理解のために重要なことです。

まずイギリス人が日常生活から持っている日本に対してのイメージ、つまり日本がイギリスに輸出している代表的な物や事を見つめましょう。トヨタ、ホンダ、日立、東芝、ソニー等の自動車製造業者や電気製品が非常に世間の人に強いイメージをもたらします。日本に関する物にとってはこれらは日常生活に一番触れる、見える、使う物です。次は恐らく日本の伝統的な武道、特に空手や柔道や剣道という事です。日本は輸出した文化のうちには武道が一番世界に広がっていったことだと思います。私はイギリスにいた間、殆どの日本人が武道の達人だという意見を聞きました。

日本は古い文化を良く海外に伝えていきます。例えば武道だけでなく、昔からの茶、茶の湯、歌舞伎、狂言、禅という文化の面もいろいろ程度イギリスに浸透したわけですね。80年代は相撲が初めてテレビで映るようになりました。ロンドンでは1回場所が行われたことがありますが、相撲のイメージが強いのです。



三股小でイギリスを紹介

侍という言葉は良く向こうでそのまま使われていますが、日本のサムライに関しては漠然とした考えしかありません。というのは極端に言えば、侍はまだ日本の社会に生きていないと思う人もいますし、侍がささやかな事ですぐ切腹しないといけないことや、切腹することはいくらでもよくされているということも信じられる人もいます。因に、切腹は西洋でハラキリというとき、意味が通じるわけです。逆に日本人は英国の王室に常に関心を持っています。最近よくダイアナ妃のことが話題になりました。イギリスから日本に伝わっていることは大体ロンドンが中心としてのことです。他の地域からの情報とかは非常に少なくなっています。後はイギリス人の紳士というイメージが圧倒的に影響を与えます。

こういふことを見ると、何かおかしい感じがしませんか。イギリス人が持っている日本と日本人のイメージの原因は適当だと思いませんか。宇宙人が日本についてそれだけが分かったら、ふさわしい見本とは言えますか。私はそうとは思いません。しかし、互いの国に行ったことがない人にとってはそんなイメージが現実であるわけですね。先に述べたイギリスのことはイギリス人の生活や考え方はある程度関係ありますが、僅かの一部分に過ぎないです。

国と国のレベルでは勿論一番立派な側面を見せるのは大事なことです。これはイギリスにとっては王室や紳士のイメージや首都のロンドンのことで、日本にとっては天皇や昔の伝統です。こういうことも具体的な形がありますので、外国人はそんなことを好みます。しかし、これよりも国民を代表することや物はその人の日常生活との不可欠な要素ではないかと思えます。例えば、その人を笑わせること、つまりユーモアが人の考え方を理解する秘訣の一つです。そうするために、週刊誌やテレビ番組やラジオ放送や漫才の事を詳しく勉強したらよいと思います。

交通安全駅伝大会で全区間走破



12月3日に開催された交通安全駅伝競走大会に参加し、24区間30・65kmを走りました。最初の計画は20キロ前後を目標にスタートしました。途中で何回も止めようかと思いましたが、沿道で温かい応援をしてくださる皆さんの「ガンバレ、ジェイソン」の声が励みになり、完走することが出来ました。ありがとうございます。三股の素晴らしい思い出ができて嬉しく思います。

図書室 だより (第96号)

本の無料交換会 協力をお願いします

11月12日(日)ふるさとまつり会場で開催致しました本の無料交換会、多くの方々のご来場があり盛会のうちに終了しました。ありがとうございました。今後も続けていきたいと思っておりますので、なお一層のご理解とご協力をお願いします。(ぶどうの会)

- 眺めのいい部屋 寿岳 童子  
【小・中学生向】 渡辺 一枝  
もうひとつの家族 キャサリン・パターンソン  
父さんと歌いたい キャサリン・パターンソン  
ガラスの家族 キャサリン・パターンソン  
夜の学校はミステリーゾーン 日本児童文学者協会  
ゾツとする学校の七不思議 日本児童文学者協会  
トイレにでる女の子の幽霊 日本児童文学者協会  
呪いをうけた校長先生 日本児童文学者協会  
死をよぶゲームソフト 日本児童文学者協会  
ごきげんなすてじ 伊東 寛  
ねごと友だち 伊東 寛  
じどう選挙大作戦 依田 逸夫  
天井裏のひみつ 依田 逸夫  
【幼児向】  
かみしばいふみちゃん 今村 洋子  
かみしばい いっきゅうさん 福島のり子  
かみしばいおさんぎつね 折口てつお  
かみしばいふしぎなねこ 関 七美  
かみしばいなんでもなおす おいしゃさん 安田 浩  
かみしばいみずうみを

2月の休館日(中央公民館図書室)

日	月	火	水	木	金	土
①				1		
②	5	6				
③	11	12	13			
④	18		20			
⑤		26	27			

数字は休みの日。

- しはるはなし 横田 章  
かみしばいねずみのほりもの このみひかる  
かみしばいなぞなぞおぼけピッチ 古川 タク  
かみしばいオットットのおじさん しばはら ち
- 都城市  
○新春消防出初め式  
◆日時 1月10日(水) 8時30分  
◆会場 沖水橋下流河川敷
- 第45回  
成人記念ロードレース大会  
◆日時 1月15日(月)  
◆会場 市陸上競技場(三股町折り返し)
- ◆内容 2・3・5・10kmの部  
◆問い合わせ 安藤スポーツ
- 高崎町  
○新春消防出初め式  
◆日時 1月7日(日) 9時  
◆会場 高崎小グラウンド
- 第23回地区公民館  
対抗駅伝競走大会  
◆日時 1月14日(日) 9時開会  
◆会場 役場をスタート・ゴールとする周回コース
- ◆内容 地区公民館対抗駅伝大会  
◆問い合わせ 社会教育課  
☎62-1111
- 山田町  
○新春消防出初め式  
◆日時 1月9日(火) 9時  
◆会場 山田町陸上競技場
- 高城町  
○第24回ジョギング高城  
◆日時 1月7日(日) 9時受付  
◆会場 町総合運動公園周辺
- ◆内容 幼児から大人まで  
◆問い合わせ 保健体育課  
☎58-2311
- 山之口町  
○新春消防出初め式  
◆日時 1月8日(月) 9時  
◆会場 山之口中グラウンド



## 在京三股会盛大に開催される

在京三股会が10月28日、新宿のモノリス29ビルで開催されました。三股町から山元町長をはじめ野口議会議長、議員、町職員ら9名が出席しました。在京三股会から約80名が出席し、焼酎を飲み交わしながら、昔話にあちこちで花が咲いて、方言も飛び交い終始楽しいひとときを過ごしました。

毎年実施されていますので、まだ一度も参加されていない方は、是非、来年参加してください。

## 三股中女子駅伝部が県大会初優勝

三股中女子駅伝部は、11月21日行われた県中学校女子駅伝大会に北諸県代表として出場し見事初優勝を果たしました。

山元町長に優勝報告と九州大会出場・全国大会出場の報告をしました。町長は、「初優勝おめでとう、九州大会、全国大会でも上位入賞目指し頑張ってください。健康に気をつけて万全の体調で望んでください」と激励されました。



## 収穫に感謝し餅つき大会

勝岡小(岩倉隆士校長、347人)は12月2日、収穫祭を行い全児童が餅つきを楽しみました。

同小では、勤労学習の一環として6月19日に5年生が田植えをし、自ら稲刈りと脱穀を行い、たくさんの餅米を収穫しました。餅つき大会は収穫に感謝しようと思ったもの。

当日は、1年生から6年生までクラス毎に分かれて餅つきを行いました。

ついた餅は、12月4日に、山元町長、清流園、デイサービスセンター、三光苑に配布しました。

## 各小中学校をファックス回線で結ぶ

学校教育課と各小中学校がファックスで受信送信できるようになりました。

これは学校事務局と各小中学校との事務能率の簡素化を図ったもの。これにより早急の文書送信受信が可能になりました。このほど、山元町長がファックス送付式を行いました。



百薬の長…… それとも毒……

## お酒との上手なつき合い方

1日の仕事を終えてホット1杯。何ともこたえられない味ですが、「もう1杯」「もう1軒」と、つい「はしこ酒」になってしまふ左党諸氏はご用心。  
「百薬の長」といわれるお酒も、限度を超すと毒物に変身するからです。飲みすぎが招く障害は、肝臓病をはじめ胃腸障害、高脂血症、アルコール依存症など枚挙にいとまがないほど。ほろ酔い気分ですつと切り上げるのが上手な飲み方。週に2日の「休肝日」を設けることも、お忘れなく。

### なぜお酒は肝臓に悪いのか

体内にとり込まれたお酒は、息や汗、尿にまじって排出されますが、それはほんの一部にすぎません。残りの大部分は肝臓に運ばれ、そこで解毒されてから排出されています。もともと肝臓とは、からだに不要なものを処理する仕事を担っている臓器。アルコールをひと口でも飲めば、その時点で多少なりとも肝臓に負担をかけているといえるでしょう。

### 飲んだ分だけ肝臓は疲れていく

お酒を多く飲んだからといって、肝臓は「分解しきれないから休みます」とかいいません。1合のお酒を飲めば1合分、5合飲めば5合分、アルコールを解毒し終えるまで、肝臓は働き続けます。それに加えて、肝臓にはほかにも大切な役割がありますから、肝臓の仕事は多忙を究めます。こうして休むこともできず、放棄することもできずにアルコールの分解をコツコツと進める肝臓は、お酒を飲んだ量に比例して悪くなっていくのです。

## お酒を健康的に飲む

### ①肝臓に負担をかけない適量に

日本酒なら1合、ビールなら大ビン1本、ウイスキーならダブル1杯が目安です。

### ②時間をかけてマイペースで

一気に飲み、がぶ飲みなど、飲むペースが早くなればその分肝臓への負担も大きくなります。

### ③食べながら飲む

中でもナッツやチーズ類、生野菜のスティックなど、タンパク質やビタミンに富んだものがよいでしょう。

### ④無理に人にすすめない

お酒には個々のペースがあるはず、無理にすすめて相手のペースを乱さないように。

### ⑤休肝日は続けて週2日

この量だから大丈夫、と安心して毎日飲まず、最低でも週に2日は連続してお酒を飲まない日をつくりましょう。

### あなたの健康をチェック

## 簡易人間ドック

自分の健康状態を定期的にチェックし、病気の早期発見・早期治療を心がけるための検診を受けませんか。

●料金/3,090円

●検査内容は、食道・胃・十二指腸透視、大腸検査、肝臓・腎臓・膵臓機能検査、胆嚢検査、B型肝炎ウイルス検査、糖尿病などの検査が一度にできます。

●申込み/予約制ですので町立病院へお問合せください。

## 肝臓には“連投”はきかない

### アルコール性肝臓病の危険度

晩酌を日課にしている人へ、「休肝日」のすすめ。飲んだお酒を処理するのは、肝臓の役割ですが、マウンドのピッチャーと同じで“連投”は疲れます。適量を飲んで、週2日は“オフ”の日をつくってください。

●日本酒を1日540ml(3合)以上5年間飲み続けた場合→アルコール性脂肪肝  
●日本酒を1日540ml(3合)以上5年間飲み続けた人が、ある日大量に飲んだ場合→アルコール性肝炎  
●日本酒を1日900ml(5合)以上を10年以上飲み続けるか、それに相当する量を飲んだ場合→アルコール性肝硬変



## 「人口予想クイズ」 柳田さんがピタリの中!



国勢調査にちなんで行いました三股町の人口当てクイズに、町民の皆様から263点ものご応募を頂きました。

結果は、実施本部の集計人口が22,942人となり、ズバリの的中した柳田喬子さん(56歳、下新)がピタリ賞、1人違いを予想した中西清文さん(31歳、上米)がニアピン賞、鍋倉佳子さん(52歳、植木)と中石あさみさん(8歳、上米)が準ニアピン賞に決まりました。

たくさんのご応募、本当にありがとうございました。なお、国勢調査の結果を簡単にお知らせします。

三股町の人口(平成7年10月1日現在)

男	10,951人
女	11,991人
計	22,942人
世帯数	7,990戸

## 行政改革大綱案を町長に答申

11月3日、三股町行政改革推進委員会(広瀬吉信会長ほか8名)は、6月に町長から諮問されていた町行政大綱案について答申しました。行政を取り巻く環境が情報化、国際化が進展する一方、本格的な高齢者社会を真近に控えつつある中で、住民の多様化する行政需要に的確に対応できるよう行政改革の重点事項について検討してきたものです。事務事業の見直し、定員管理及び給与の適正化の推進、行政の情報化の推進等について活発な意見が出されました。町では大綱で示された具体的方向の指針に基づき逐時実施していく計画です。



## 第6回三股町生涯学習推進大会

11月26日、役場4階会議室で生涯学習推進大会が開催されました。「ボランティア活動と生涯学習」のテーマで、3名の意見発表と講演がありました。

意見発表では、本町のボランティアグループ「ぶどうの会」大村麻里さん等がグループの活動状況を楽しく紹介した後、国際交流員ジェイソンさんが「イギリスのボランティア活動」について発表がありました。最後に、斉藤真詩さん(大学生)が阪神大震災ボランティア活動体験を発表しました。

講演では宮崎放送副報道部長の東治男さんが、ボランティア活動の一般的な考え方は自主性、無償性、公共性、継続性について説明。ボランティア活動の第一歩として具体的に日常生活の中で、ほめ言葉を最後にもってこることが大事ですと話されました。



## 勲五等双光旭日章受賞

内山信哉さん(前目)

内山信哉さんは、秋の叙勲において、勲五等双光旭日章を受賞されました。

内山さんは、28年5ヶ月もの永きにわたり、教育一筋に尽力されました。特に、都城都島高等学校、日南農林高等学校において農業技術の向上に、また、都城ろう学校長時代においては、指導面はもとより、寄宿舎など教育環境整備に尽力、障害児教育の発展に尽力されました。

町では、この栄誉をたたえ、12月11日老人福祉センターにおいて、町議会議員や各民主団体長など90名が参加して、盛大に祝賀会が開催されました。

## 新ひむか土地改良祭'95 三股西小児童3部門で入賞

11月27日開催された、美しく豊かな村づくり推進大会において、三股西小の児童4名が作文の部、標語の部、イラストの部において表彰されました。

大会は、ふるさと・夢・未来というテーマを掲げ、21世紀に向かって、農業・農村をより美しく、豊かなものとするため農業農村整備事業の今後の展開方向について広く県民に理解を深めるため開催されているものです。

大会において、3部門で次の児童が表彰されました。

- ☆作文の部 金賞 甲斐 琴巳(6年)
- ☆標語の部 銀賞 椎屋 一基(6年)
- ☆イラストの部 銅賞 久保 香澄(6年)
- 銅賞 摩鍋 和人(6年)



## 住みよい地域づくり目指し 空き缶拾い

町壮年連絡協議会(中石高男会長)は11月23日、早朝に町内一斉空き缶拾いを行いました。

協議会では、住みよい地域づくりを目指して、各単位地区毎に主要道路の空き缶・ごみ拾いを実施しました。会員は、空き缶などの多さに驚き、飲んだら持ち帰りリサイクルに協力するよう誓いを新たにしました。《きれいな町づくりのため、空き缶の投げ捨てはやめましょう。》



## 「みどりヶ丘」にシイタケほた場

北諸県農林振興局より勝岡小学校(岩倉隆士校長、347人)に、しいたけほた場を設置しました。

しいたけの生態・生理の観察などを通じて子供たちに農林業や自然環境への理解を深めさせるため、県が平成元年から始めたもの。約1メートルのほた木200本は、プール西側の「みどりヶ丘」に設置。

引き渡しには、緑の少年団の5・6年生など約40人が参加。少年団長の中原明日香さんが、「学校の伝統として大切に育てます」とお礼を述べました。

